

都道府県名

和歌山県

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	南部川村立高城小学校								
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	1	1	1	1	1	7	11
児童数	14	16	14	18	10	12	1	85	

研究の概要

1. 研究主題

「自ら学ぶ力と確かな学力を身につけた子どもの育成」

—— 算数科を中心に基礎・基本を踏まえた指導法の工夫改善 ——

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

1年～6年生・算数

- ・14年度の成果と課題を踏まえた取組をするため。
- ・算数では、各学年の系統性を大切にされた指導方法の工夫改善により、子どもたちに確かな学力を培うことができると考えるから。
- ・系統性の強い教科での実施で、研究内容・成果・課題を全職員のものにすることが容易だと考えるから。

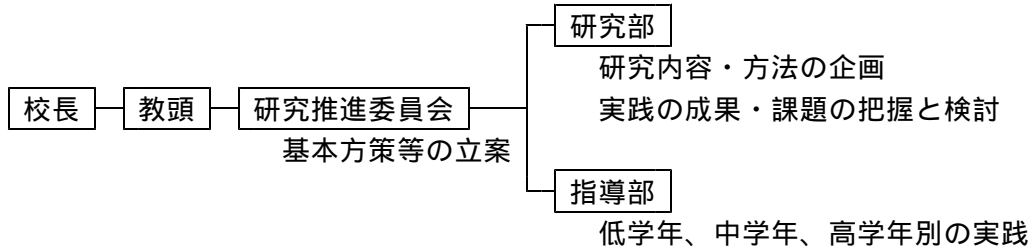
(2) 年次ごとの計画

平成 14 年 度	テーマ 「算数科を中心とした指導法の改善」 研究の見通し(仮説) 自主的に考え、判断できる力を育てるという教育のねらいに迫るために、算数科においては、子どもの主体的な活動を重視しながら楽しさと充実感のある学習にすることが重要である。
	系統性を踏まえ、指導方法・指導体制の工夫改善を推進することにより、確かな学力を培うことができると考える。 研究内容・方法 ・第3～6学年の算数科において、すべての時間に教科担任制を導入し、学級担任との複数教員による指導を実施する。第1～2学年では必要な時間に複数教員による指導を実施する。 ・複数教員による教材研究と指導で、多面的に教材や子どもの姿を見ていく。 ・全学年において、毎日一斉に5分間の基礎タイムの時間を設定し、算数科の計算や漢字の習熟を図る。また、つまずきを発見する時間ともおさえ放課後等に指導する。 ・指導と評価の一体化による授業実践を中心にしてきめ細かな指導を推進する。

平成15年度	<p>テーマ 「算数科を中心に基礎・基本を踏まえた指導法の工夫改善」 研究を推進し学力向上の成果あげるために、研究の視点を明確にしたテーマを設定した。</p> <p>研究の見通し（仮説） 自主的に考え、判断できる力を育てるという教育のねらいに迫るために、算数科においては、子どもの主体的な活動を重視しながら楽しさと充実感のある学習にすることが重要である。 系統性を踏まえ、指導方法・指導体制の工夫改善を推進することにより、確かな学力を培うことができると考える。 特に、各学年・各單元における基礎・基本とは何かを踏まえた系統的な指導が大切である。また、「数学的な考え方」の学力を伸ばすことで、「関心・意欲」「表現・技能」「知識・理解」の学力も相俟って高まり、確かな学力が期待できると考える。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・算数科において教科担任制をとり、学力差が現れ始める第3学年、第4学年を重点学年とし、すべての時間に学級担任との複数教員による指導を実施する。第1, 2, 5, 6学年においては、より効果が期待できる領域・単元・内容において複数教員による指導を実施する。授業形態は子どもの実態や単元の特質を踏まえた多様な形態をとる。 ・目標と指導と評価の一体化による授業実践を中心にしてきめ細かな指導を推進する。 ・全学年において、毎日一斉に5分間の基礎タイムの時間を設定する。
--------	--

平成16年度	<p>テーマ 「算数科を中心に基礎・基本を踏まえた指導法の工夫改善」</p> <p>研究の見通し（仮説） 自主的に考え、判断できる力を育てるという教育のねらいに迫るために、算数科においては、子どもの主体的な活動を重視しながら楽しさと充実感のある学習にすることが重要である。 系統性を踏まえ、指導方法・指導体制の工夫改善を推進することにより、確かな学力を培うことができると考える。 特に、各学年・各單元における基礎・基本とは何かを踏まえた系統的な指導が大切である。また、「数学的な考え方」の学力を伸ばすことで、「関心・意欲」「表現・技能」「知識・理解」の学力も相俟って高まり、確かな学力が期待できると考える。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・算数科において教科担任制をとり、重点学年、重要単元やより効果が期待できる領域・単元・内容において複数教員による指導を実施する。 ・目標と指導と評価の一体化による授業実践を中心にしてきめ細かな指導を推進する。 ・基礎タイムの時間を継続する。
--------	--

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

《研究推進の観点から》

- 目標と指導と評価の一体化による授業づくり
- 「数学的な考え方」を高める意図的な取り組み
- S P表の作成と活用

《学力向上の観点から》

研究の見通し(仮説)に基づき、本年度は「数学的な考え方」を伸ばす意図的な実践を展開した。成果の状況を4年生の児童18名を例にとってみると以下ようになる。

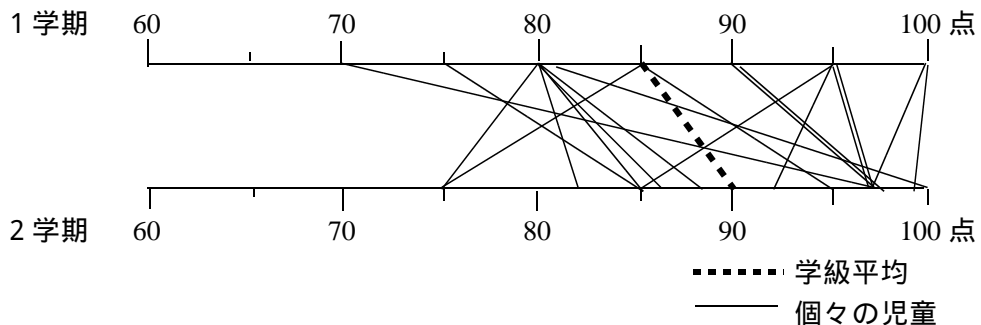
〔図〕は「数学的な考え方」観点における個々の児童の状況を1学期と2学期で比較したものである。課題を認める児童もあるが、個々の児童の状況や全体の分布から向上の成果を見取ることができる。学級平均も5点の上昇が見られる。また、〔資料〕からは、課題解決にあたっての児童の態度が良好な状態であることがわかる。設問では、78%の児童が以前より「自分で考えてみようとする」ことがふえてきた」と回答している。

〔図〕を見ると、「表現・処理」に関しては大きな変化はないが、「知識・理解」での向上が顕著で、到達度がBからAに上昇した児童が5名いる。

〔図〕は算数科の総合的な学力を表したものであるが、4名の児童が到達度BからAに上昇し学力を向上させている。

以上のことから、「数学的な考え方」の向上と相俟って「知識・理解」も向上し、算数科の確かな学力を培いつつある状況が認められる。

〔図〕個々の児童における「数学的な考え方」観点の学習状況



〔図〕「表現・処理」「知識・理解」観点の到達度

(表現・処理)

1学期 ⇨ 2学期

到達度		到達度		
A	14人	A	15人	(+1)
B	4人	B	3人	

(知識・理解)

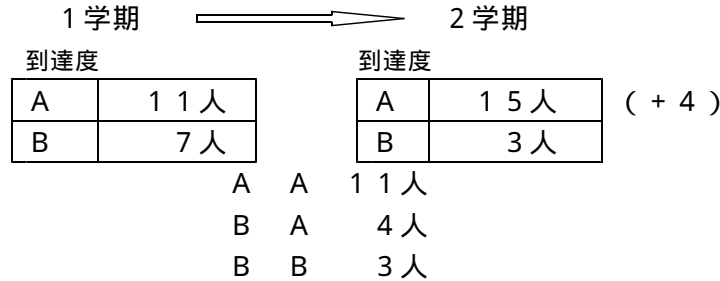
1学期 ⇨ 2学期

到達度		到達度		
A	12人	A	17人	(+5)
B	6人	B	1人	

A A 12人
A B 2人
B A 3人
B B 1人

A A 12人
B A 5人
B B 1名

〔図〕総合的な到達度



〔資料〕『「数学的な考え方」を高めることに関わった調査』より抜粋

(設問) 「問題を自分で考えてみるのはおもしろいですか」

おもしろい	どちらともいえない	あまりおもしろくない
10人(56%)	7人(39%)	1人(5%)

(設問) 「友達の考えを聞くのはおもしろいですか」

おもしろい	どちらともいえない	あまりおもしろくない
12人(67%)	4人(22%)	2人(11%)

(設問) 「いろいろなやり方を考えようとしていますか」

している	どちらともいえない	あまりしていない
12人(67%)	2人(11%)	4人(22%)

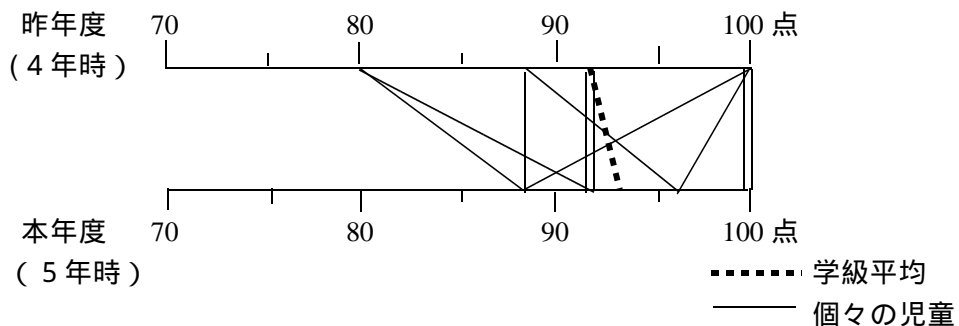
(設問) 「前の学年の時とくらべて、自分で考えてみようとすることはふえてきましたか」

ふえてきた	わからない	へってきた
14人(78%)	4人(22%)	0人

〔図〕は5年生の学習状況を例にとったものである。1名の児童については課題を認められるが、全体として学力向上の成果を見ることができる。

〔図〕5年生の学習状況

日高地方算数基礎能力テストより



《児童の意識の観点から》

算数に対する意識として、「すきか、きれいか」、「とくいか、にがてか」を調査し14年度と比較したのが〔資料〕である。全体として「すき」「とくい」が増加し「きれい」「にがて」が減少して意識は高まっている。中でも、「とくい」は全学年で増加していることは確かな学力向上の成果の反映だと考えられる。「きれい」が13人に関しては、吟味を要する。

〔資料〕「算数アンケート」より抜粋

(設問)「算数は好きですか、きらいですか。」

	好き	どちらともいえない	きらい
4年	5 (-1)	8 (-1)	5 (+2)
5年	5 (+4)	2 (+1)	3 (-5)
6年	3 (+1)	4 (+2)	5 (-3)
計	13人(+4)	14人(+2)	13人(-6)

(設問)「算数はとくいですか、にがてですか。」

	とくい	どちらともいえない	にがて
4年	10 (+4)	5 (-1)	3 (-3)
5年	5 (+4)	3 (0)	2 (-4)
6年	2 (+1)	6 (-3)	4 (+2)
計	17 (+9)	14 (-4)	9 (-5)

平成15年6月実施 ()内は14年実施との比較

4年は3年時、5年は4年時、6年は5年時との比較

2. 今後の課題

目標と指導と評価の一体化による授業づくりを推進し、一層の授業改善に結びつけること。

内容の系統性や単元の特性、各単元の基礎・基本をおさえた指導方法・指導形態の工夫改善をさらに進めること。それらを踏まえたより確かな指導計画を作成すること。自ら学ぶ力と確かな学力を育むために、本年度より意図的に取り組んでいる「数学的な考え方」を意識した実践を進めること。ポストテストなどにより「数学的考え方」を詳細に把握できるようにすること。

算数の時間での指導にとどまらず、学校での教育活動全体と関連づけ総合的な視点で学力の向上をめざすこと。

算数科での成果を、他の教科等にも生かすこと。

学力等把握のための学校としての取組

日高地方算数・数学基礎能力テスト

(2年～6年生4月実施、前学年内容の到達)

県学力診断テスト〔4年～6年生11月26日実施〕

南郷計算力テスト〔全学年1月9日実施〕

学年別到達度テスト〔全学年2月実施予定〕

各単元におけるテスト(レディネステスト、小テスト、単元終了後のテスト)〔常時実施〕

基礎タイム〔毎日5分間〕

算数アンケート(6月、12月実施)

S P表

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

(1) 研究会、説明会等の開催

4月27日(木)高城小学校

(内容)授業参観

(対象)保護者

5月16日(金)高城小学校

- (内容) 授業参観及び懇談会
(対象) 1, 2, 3年保護者
5月22日(木) 高城小学校
(内容) 授業参観及び懇談会
(対象) 4, 5, 6年保護者
9月9日(火) 高城小学校
(内容) 授業研究 フロンティアティーチャーと学級担任によるTTの授業
(対象) 南部川村、南部町内小学校4年担任
10月30日(火) 高城小学校
(内容) フロンティアスクール研究発表会
・研究授業 3年算数「4角形をしらべよう」
・全体会 授業検証、研究報告
講義 加藤明先生(京都ノートルダム女子大学教授)
(対象) 県内小学校教員
研究集録作成「中間報告の概要」
11月9日(日) 高城小学校
(内容) 授業参観
(対象) 保護者(特に父親)
2月5日(木) 高城小学校
(内容) 授業研究 フロンティアティーチャーと学級担任によるTTの授業
(対象) 南部川村、南部町内小学校1年担任

(2) HP作成 (<http://www.minabegawa-kyo.jp/takasho/home.htm>)

記載内容

- ・研究主題、研究内容・方法の概要 研究授業等

~~~~~  
次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- |                      |            |                                     |            |                                     |      |    |
|----------------------|------------|-------------------------------------|------------|-------------------------------------|------|----|
| 〔新規校・継続校〕            | 15年度からの新規校 | <input checked="" type="checkbox"/> | 14年度からの継続校 |                                     |      |    |
| 〔学校規模〕               | 6学級以下      | <input type="checkbox"/>            | 7～12学級     |                                     |      |    |
|                      | 13～18学級    | <input type="checkbox"/>            | 19～24学級    |                                     |      |    |
|                      | 13～15学級    | <input type="checkbox"/>            | 16学級以上     |                                     |      |    |
| 〔指導体制〕               | 少人数指導      | <input checked="" type="checkbox"/> | TTによる指導    |                                     |      |    |
|                      | 一部教科担任制    | <input type="checkbox"/>            | その他        |                                     |      |    |
| 〔研究教科〕               | 国語         | <input type="checkbox"/>            | 社会         | <input checked="" type="checkbox"/> | 算数   | 理科 |
|                      | 生活         | <input type="checkbox"/>            | 音楽         | <input type="checkbox"/>            | 図画工作 | 家庭 |
|                      | 体育         | <input type="checkbox"/>            | その他        | <input type="checkbox"/>            |      |    |
| 〔指導方法の工夫改善に関わる加配の有無〕 |            | <input checked="" type="checkbox"/> | 有          | <input type="checkbox"/>            | 無    |    |